

PRESS RELEASE

古川美術館 分館 爲三郎記念館 特別展

「つむぐけしき よむこころ

米山和子 祖父江加代子」

よねやまよりこ

そぶえ かよこ

平成26年10月18日（土）－12月14日（日）



主催＝公益財団法人古川知足会 中日新聞社 特別協賛＝SMBC日興証券株式会社
協賛＝アズビル株式会社、ミソノサービス株式会社
後援＝愛知県・名古屋市各教育委員会、スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社
協力＝ルージュ・プロジェクト、株式会社ノリタケカンパニーリミテド、福西和紙本舗
連携協力＝ESDユネスコ世界会議 あいち・なごや支援実行委員会



美術と数寄屋のおもてなし

古川美術館

FURUKAWA Art Museum

「つむぐけしき よむころ 米山和子 祖父江加代子」について

Yoriko YONEYAMA & Kayoko SOBUE

■ 展覧会概要

世界から注目される日本の「米」と「和紙」。千年の時を越えて受け継がれてきた二つの素材を用いて、愛知県在住の現代アーティスト米山和子によるインスタレーションと、空間コーディネーター祖父江加代子による空間演出を行います。

米山和子は、米の糊としての特性、和紙の長い繊維と柔らかな特性を活かしたアートを作りあげます。炊いた米の一粒一粒を絹糸につなぎ、出来上がった何万もの半透明の美しい米粒により作り出した空間アート。和紙の繊維をほどくことによって生み出された繊細なトルソ（人体像）。それぞれの特性を活かした他に類を見ないアート作品は、神秘的な魅力を放ちます。

祖父江加代子は、豊穡の秋や日本のこのころをテーマに為三郎記念館を彩ります。季節や年中行事に合わせた、世界的に評価の高い日本のしつらえの文化。祖父江は、独特の風合いを持つ和紙、米をはじめとした素材の美を活かし、水や光など移りゆく自然美を取り込んだ和モダンな空間へ皆様をお招きします。

築80年を迎えた自然に囲まれた数寄屋建築に、大切に残してゆきたい日本のこのころを、二人のアーティストが和歌の歌枕にちなむテーマで演出します。古来、受け継がれ、そして未来につながる美と和のこのころがつむぐけしきをご堪能ください。

展覧会の見どころ

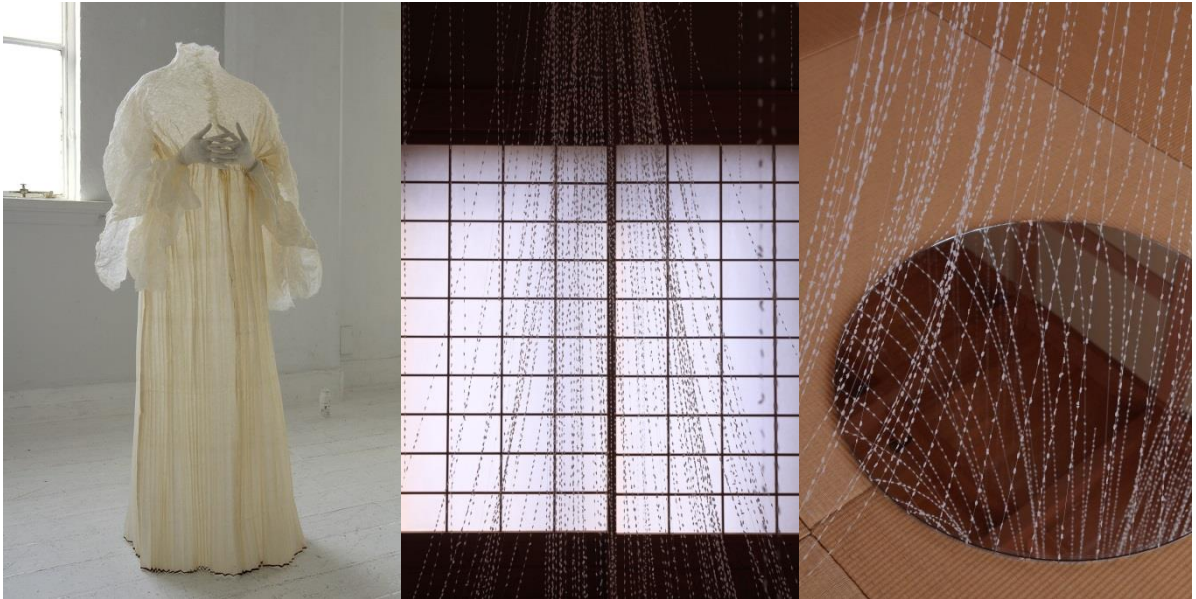
① これぞ日本の美！ —古から未来へ—遙かなる時をつなぐ「米」 「和紙」。二人の芸術家が、日本のこのころを歌枕にちなむテーマで演出

千年の時を越えて受け継がれ、世界的に評価の高い「和紙」と、世界遺産・和食の要である「米」に注目した二人のアーティストが、築80年の数寄屋建築に、未来につながる日本美と和のこのころを、和歌の歌枕にちなむテーマで演出。



② 現代アーティスト 米山和子 数万粒の<米>が輝きを放つ絹糸、繊細な<和紙>オブジェが誘う 神秘の和空間

数万粒の米をつないだ絹糸を空間全体に張り巡らせた、潤いある情緒豊かな日本の風景。そして吉野和紙による繊細なトルソ（人体像）や枯山水の景色。神秘的な世界へと誘います。

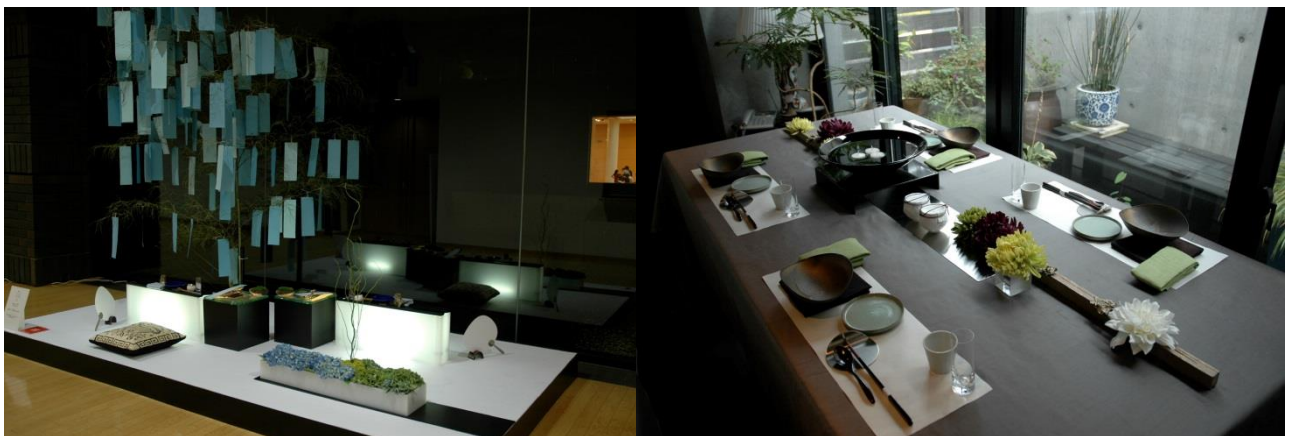


作品イメージ

③ 空間コーディネーター 祖父江加代子 悠久の和素材<米><和紙>でつむぐ、懐かしき数寄屋の景色

豊穡の秋や和のこころをテーマに、独特の風合いを持つ和紙、米本来の素材美を活かして為三郎記念館を彩ります。竹林や椎の巨木、流れる滝を背景に、水や光の移りゆく自然美を取り込んだ和モダンな空間へ皆様をお招きします。

◆前後期で「ひさごの間」（祖父江加代子展示）を展示替
前期テーマ<みのり> 10月18日（土）～、後期テーマ<ことほぎ> 11月11日（火）～



作品イメージ

◆米山 和子 (よねやま よりこ) : 現代アーティスト

1958年埼玉県生まれ。東京藝術大学及び大学院にて日本の伝統金工技法を学ぶ。卒業後、金属流木等ミクスドメディアのオブジェを制作、日本オブジェ展PARCO賞受賞。境界をテーマに金網と写真を使ったインスタレーションを始める。

十数年前伝統的手漉吉野和紙に出会い制作素材を和紙に変える。また飯糊から発想を得て米の作品も展開中。

展覧会：名古屋市文化基金事業「名古屋に来た7人のアーティスト」、錦糸町西武STUDIO錦糸町、京都工芸繊維大学「紙は今2005」、愛知トリエンナーレ共催展「こめのゆめ2009七ツ寺共同スタジオ」、名古屋市美術館「ポジション2011 米山和子展ーほどくかたち、つむぐけしき」、イタリアラクイラ「日伊震災復興コンサート」、イギリス世界遺産Salts Mill 「Cloth&Memory{2}」他

◆祖父江 加代子 (そぶえ かよこ) : 空間コーディネーター

1952年愛知県生まれ。名古屋造形短期大学V・D専攻科を卒業後、広告制作会社に勤務。その後、繊維商社に勤務し、1988年にインテリアオフィス・ミュウを設立。住宅・店舗等のインテリアコーディネートをはじめ、店舗・結婚式場等の空間コーディネートを手掛ける。テーブルトップのコンサルティング、空間プロデュースほか、陶磁器地場産業の活性化事業にも関わる。

長久手サロン・ノリタケ栄店にて、テーブルコーディネート教室を開く。NPO法人食空間コーディネート協会理事。

賞歴

- 1998年 主婦の友社「プラスワンリビング」インテリア実例大賞 グランプリ
- 2001年 東京ドームテーブルウェア大賞コーディネート部門 佳作
(2002年 都知事賞、2003年 優秀賞、2004年 優秀賞・審査員奨励賞、2007年 優秀賞、2008年 佳作)
- 2003年 ORIBEX テーブルコーディネートコンテスト 優秀賞
(2004年 奨励賞・佳作、2005年 優秀賞、2007年 審査員奨励賞)
- 2004年 婦人画報「茶遊び大賞」準グランプリ
- 2004年 浜名湖花博「大地の恵み」テーブルコーディネート 銀賞

関連イベント

◆米山和子・祖父江加代子 アーティストトーク

展示作品の魅力やエピソードなど、作家が直接語ります！

日時：11月1日（土）、12月6日（土）各日14時～

参加費：無料（入館料別途必要）

会場：分館 爲三郎記念館

米と和紙を使った、これまでにないアート！
その魅力を作家自らお話します！

◆夜間イベント「アート空間で味わうお米ナイト」

米と和紙をテーマとしたアート空間で、無限の可能性を持つ日本の食「米」を味わいます。日本料理「新」による特製秋のお弁当、関谷醸造の新酒など、展覧会出品作家によるアーティストトークと共に楽しむ贅沢な夜のひとときです。

日時：11月9日（日）閉館後 18時～19時半（受付開始17時45分）

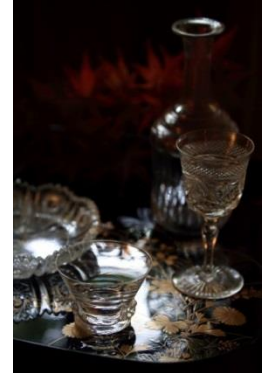
参加費：5,000円（入館料込）

会場：分館 爲三郎記念館

協力：ルージュ・プロジェクト

※お酒を提供いたしますので、公共交通機関をご利用ください。

要予約



◆米山和子による～米糸作り

要予約

七変化！日本のお米って、すごい！作家と一緒に、炊いた米を絹糸につなげて、素敵なオブジェを作りませんか。

日時：11月1日（土）、10時半～

講師：米山和子（現代アーティスト）

参加費：500円（入館料700円別途必要）

対象：一般・小学生以上

会場：古川美術館3階会議室



◆祖父江加代子とつくる～和紙のランチョンマット作り

要予約

日本伝統の和紙を使い、クリスマスやお正月をテーマにランチョンマットを作りませんか。祖父江氏によるテーブルコーディネートのレクチャーもお楽しみに！

日時：12月6日（土）10時半～

講師：祖父江加代子（空間コーディネーター）

参加費：1,000円（入館料700円別途必要）

対象：一般

会場：古川美術館3階会議室



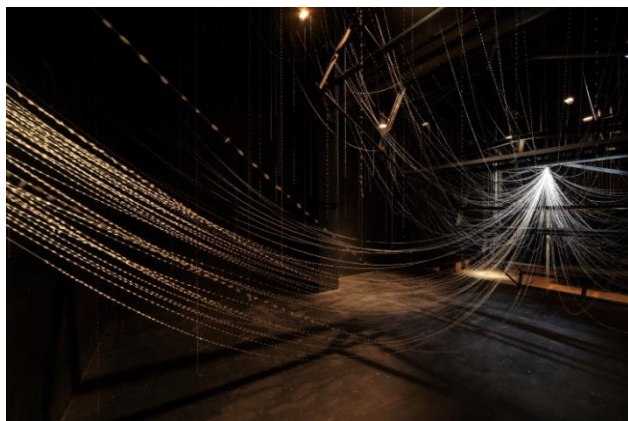
◆祖父江加代子コーディネート みのもり茶会（11月15日）開催。

◆展覧会期間中は、米山和子デザインの和菓子も用意しております。

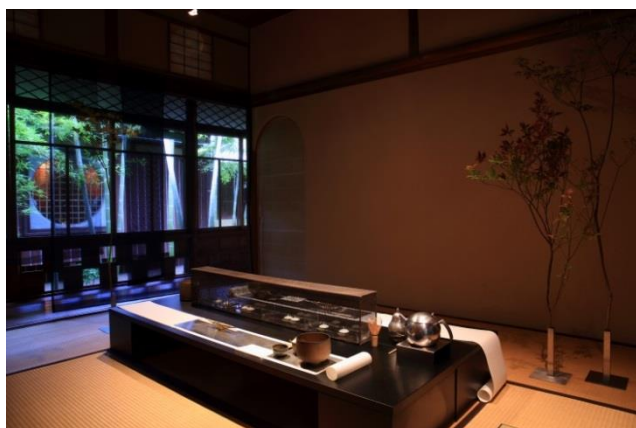
◆ 広報画像 キャプション
(下記画像)

米山和子 和紙トルソ
「Naomi」2004
素材:和紙その他 撮影:黒柳正美

米山和子 米インスタレーション
「こめのゆめ2009七ツ寺共同スタジオ」より
2009 素材:米、絹糸その他 撮影:山口幸一



祖父江加代子 空間コーディネーター
分館 爲三郎記念館 撮影:山口幸一



※作品をご紹介、ご掲載いただける場合は、郵送、メールにてデータ送付させていただきます。
お手数をおかけいたしますが、下記までご依頼いただきますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ】 公益財団法人 古川知足会 古川美術館・分館 爲三郎記念館
電話052-763-1991 FAX052-763-1994(学芸課)
〒464-066 名古屋市千種区池下町2丁目50番地
アクセス 名古屋市営地下鉄 東山線「池下」駅より徒歩3分

爲三郎記念館 担当学芸員 早川祥子(s_asano@furukawa-museum.or.jp)
広報担当 学芸課 山内綾子(a_yamauchi@furukawa-museum.or.jp)